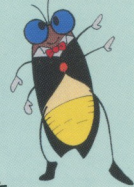


「蛍のふるさとづくり」



ほうきかわ

常川の源流郷の塩原温泉には、昔から「ほたる」が

飛び交い、人々の心に神秘的感動を与えてくれました。

一時期ほたるは絶滅の危機にさらされましたが、ここ数年自然環境の復元も手伝ってか、「ほたる」達がわが里塩原温泉にその姿を見せてくれるようになり、あの感動!が再び帰ってきました。

この「ほたる」達を守り、維持し、増やして、ほたるに良い環境の里づくり、「ほたるのふる里づくり」をしようと、町民達が立ち上がり組織を設立しました。

ほたるの里づくり
塩原ひかる会

会長 鈴木 さゆみ

自然環境を大切に守りましょう! こんな場所にほたるは住めない

◆ゴミや洗剤で汚れた川

水や土が汚い所には、ほたるは住めません。

◆夜でも明るい川

周りが明るいと仲間のほたるが光を見つけれません。

◆土手に土がない川

コンクリートでは土に落ち、サナギになる事ができません。

◆土手に木や草のない川

体を休める場所や卵を産卵する場所が必要です。

◆伐採された山から流れている川

鉄砲水や泥水が流れこんでしまいます。

◆公害等で空気の汚いところ

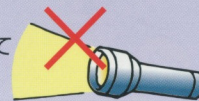
成虫したほたるが飲む夜露が飲めなくなります。



ほたるを観賞する際のお願い

1 光害の注意

- ★懐中電灯(赤いセロファンを貼ると良い)
自分の足元を照らすだけで決してほたるに光を向けない。
- ★カメラ…フラッシュ厳禁。
- ★自動車…ほたるの場所の近くまで車を乗りつけない。



2 その他の注意

- ★ほたるを捕まえたりしない。
- ★飛翔場所は、事前に確認しておくか詳しい人に案内してもらう。
(暗く足元の悪い場所もあります。)
- ★他の見学者にも「こんばんわ」と、必ず声を掛け合いましょう。



※ほたるが光って飛ぶのは、オスとメス呼びあって光るからなのです! 草むらにいるメスにオスが上空から必死に光でプロポーズします。メスは自分の気に入ったオスの光を下から見つけると光で応えます。そして短い命の尽きるまでの1週間~10日の間に交尾して産卵を済ませる、といった大仕事を成し遂げなければなりません。「そんなほたるの生態域をのぞき見る私達人間は、絶対にその邪魔をしてはいけません。」



〔会長宅〕 ほたるの里づくり

塩原ひかる会

〒329-2923 栃木県那須塩原市上塩原44-3

TEL 0287(32)2859 FAX 0287(32)2015

<http://www02.so-net.ne.jp/~happo-en/98620hotaru.html>

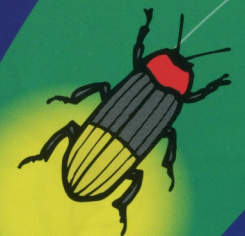
塩原温泉ビジターセンター

〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原前山国有林

TEL・FAX 0287(32)3050

ホオ〜、ホオ〜、ほーたる来い。
栃木県・塩原温泉

蛍のふるさと



ほたるの里づくり
塩原ひかる会